

2023年度概算要求

社会保障費抑制が鮮明

厚労省 マイナンバー関連は大幅増

厚労省は8月25日、2023年度予算の概算要求を公表した。一般会計の要求額は総額33兆2644億円で22年度当初予算比1・9%増。このうち年金・医療などの経費として31兆2694億円を計上した。高齢化などによる社会保障費の自然増は5600億円と抑え込んでおり、社会保障の国民負担増・給付削減路線が浮き彫りになっている。

コロナ禍や物価高騰で

医療機関が疲弊するなか、医療提供体制の強化や医療機関の経営支援策が求められるが、新型コロナウイルス対策の大半は金額を示さない「事項要求」とした。病床確保の支援やワクチン接種の体制確保、介護事業所のサービス継続支援などは感染状況を踏まえ、年末までに

り込んだ。不要不急の事業に巨額の予算を投じようとしている。

歯科関連では、歯科保健推進事業では、歯科健診への取り組みの支援を加えた。

軍拡で過去最大の要求額

防衛省

防衛省は2023年度予算の概算要求で過去最大の5兆5947億円を計上した。金額を明らかにしない「事項要求」が多数盛り込まれ、年末に最終決定される予算案では6兆円台半ばになると見込まれている。社会保障費抑制の一方で、軍事費はGDP比2% (約11兆円) 以上への増額を

目指す自公政権の政策を反映した概算要求になっている。

軍事費の中身は、長距離ミサイルの配備や攻撃型無人機の整備など「敵基地攻撃」可能な兵器が盛り込まれた。専守防衛を逸脱し、軍拡路線を鮮明にしている。

防衛省は2023年度予算の概算要求で過去最大の5兆5947億円を計上した。金額を明らかにしない「事項要求」が多数盛り込まれ、年末に最終決定される予算案では6兆円台半ばになると見込まれている。社会保障費抑制の一方で、軍事費はGDP比2% (約11兆円) 以上への増額を

大阪社保協 全市町村アンケート 成人歯科健診

成人歯科健診は自治体間格差が大きい
◎15歳以上なら毎年受けられる
守口市・岬町
×40、50、60、70歳しか受けられない
交野市・河内長野市・高石市・泉野市・河内市・富田林市・能勢町・太子町・千早赤阪村

10年に1回の自治体も
成人歯科健診は府内全市町村で実施しているが、対象年齢には大きな格差がある。一定の年齢になれば毎年受けられる自治体は、守口市と岬町の15歳以上を筆頭に、高槻市・島本町18歳以上、池田市・忠岡町・田尻町20歳以上、豊中市・吹田市30歳以上と続く。
一方で、半数の自治体は数年に1回しか受けられない制度になっている。
少なくとも毎年受診できるように制度の大幅な拡充が求められている。

市内に要望書提出

市内4地区
協会の大阪市内4地区(北部、東部、西部、南部)は8月30日、口腔保健事業や医療費助成制

度、歯科医療機関の経営支援など4分野54項目について、大阪市内に要望書を提出した。

4地区は要望をもとに、今後大阪市内と懇談を予定している。

サマーセミナーに参加して 安保条約の本質を見た 江原豊 (堺市)



地への核による報復は「受け入れなければならぬ」というのが米軍部の基本方針である。すなわち、日本の基地への核攻撃は容認すべしということである。

陸上自衛隊の弾薬庫が建設された宮古島の住民の「ミサイルを撃つたら仕返しをくらうから反対さ。戦争になったらみんな死ぬ覚悟をしないとだめさ。いまの兵器は一発でみんなイチョコロ。逃げたって無駄さ」という言葉が重くのしかかる。

「戦争有事」と軽く言うが、自由も人権も生命も奪われてしまう。戦争などあってはならない。エネルギー自給率12%、食料自給率38%の日本が戦争するなど不可能である。憲法前文と9条を武器に核兵器廃絶、仲介外交に邁進するしか平和を守る道はない。さもなければ、日本は米国を守る傘、盾にされてしまう。

今年度の要望では、障がい者(児)歯科に関し、その家族を含めた歯科受診の保障、医療提供体制の拡充を新に追加した。医療費助成制度については、市独自の「福祉医療費助成制度」として▽子ども医療費助成制度の所得制限の撤廃▽高齢者、難病患者・障がい者

物案内
歯科医院賞与
【住所】大阪府平野区加美北6-14-3【最寄駅】JR平野駅【設備】チェア3台、パノラマ【面積】1192㎡(約36坪)【金額】1年目20万円、2年目20万円+消費税(22万円)【連絡先】協会新聞部

大阪大学のゲノム編集センターのWEBサイト
Genome Editing Research and Development (GED) Center
NEWS
2022.01.27 遺伝子改変動物実験の受付を開始します
2021.09.14 遺伝子改変動物実験センター使用説明会(オンライン)【ゲノム編集】を開催しました
2021.06.16 遺伝子改変動物実験センターの受付開始について
2021.03.01 ゲノム編集動物実験の受付開始
2020.10.08 遺伝子改変動物実験センター使用説明会(オンライン)【ゲノム編集】を開催しました
2020.06.11 遺伝子改変動物実験センターの受付を開始しました
2019.07.04 7月19日(金)に「Hande研究会」(医学技術と社会のつなぎ)【ゲノム編集】を開催しました
2019.07.04 7月19日(金)に「Hande研究会」(医学技術と社会のつなぎ)【ゲノム編集】を開催しました
2019.06.03 日本ゲノム編集学会第4回大会に参加しました

がん医療においては、既に患者のがんの遺伝子情報に基づいた個別医療が現実化しています。近い将来、私たちも、顎顔面や歯の疾患に関わる遺伝子情報を有効活用した包括的な治療や、病態発生の予防が実現すると考えています。

歯学研究が開く 歯科の未来 ⑯ 遺伝子情報に基づいた 歯科矯正治療の研究

大阪大学大学院歯学研究所 顎顔面口腔矯正学教室 教授 山城 隆
□の難病 プロジェクト
大阪大学歯学部附属病院は一般の矯正歯科治療に加え、顎変形症患者の外科的矯正歯科治療、代謝性の疾患を伴う患者や、口腔顎顔面領域の先天的奇形を伴う患者の矯正歯科治療に広く携わっています。特に、大阪大学大学院では、□の難病プロジェクトがすすめられ、また、大阪大学歯学部附属病院は、□唇□蓋裂患者の一貫治療に力を注いできました。
そのような背景の中、私たちは□や顔面が生じる先天性疾患における病態発生のメカニズムを理解し、将来の分子治療や予防を実現することを目指して、様々な基礎研究に力を注いでいます。
最近では、個々の患者の全遺伝子配列を読むことができるようになり、矯正歯科治療